

# 9-7

## 生活相談員 入門編

他職種間の連携を図るために

他職種協働

アンケート調査

平成21年度 生活相談員スキルアップ研修会 Aグループ

発表者：活相談員 高橋 博之	共同研究者：井坂 卓也、山本 志保、植本 洋平
所在地：渋谷区西原 1-40-1	共同研究者：萩田 理紗、高橋 裕恵、内藤 弘美
TEL：03-5790-0883	
FAX：03-5790-0889	

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	当グループは、東社協の高齢者福祉部会、生活相談員研修委員会が、変化に対応していく人材育成を目的とする「生活相談員スキルアップ研修会」で高い専門性や技術を身につけるために研修を行っている生活相談員7名のグループです。
----------------------------	---

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <p>○高齢者福祉施設における生活相談員の業務は、施設によって様々な状況にある。特に経験の浅い相談員であれば、何が相談員の業務なのか、相談員の業務とは何なのか？といった悩みや迷い、孤独感や不安もある。</p> <p>○他職種からの生活相談員に対するニーズ・期待（中核業務・その他の業務への役割期待）を把握し、相談員は何を求められているか、他職種の意見も参考にして、生活相談員の本来の役割を明確にし、利用者・家族との関係作りに活かし、やりがいのある環境づくりを目指していく。</p> <p>○生活相談員自身が主観的に捉えている業務内容と他職種が求める役割の認識の差を明らかにする。</p> <p>〈具体的な取り組み〉</p> <p>H20に生活相談員研修委員会・ソーシャルワーク検討小委員会が生活相談員を対象に実施した「生活相談員業務の実態分析と人員配置に関するアンケート調査」の調査項目を参考に、他職種向けに再構成をした調査を実施し、H20のアンケート結果（生活相談員の主観的な業務に対する認識）と、今回実施する他職種の主観的な調査結果とを比較し、検証する。</p>	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <p>○他職種は、生活相談員に、職種間の調整役としての期待が高い。</p> <p>○施設種別又は職種によって求められる結果が異なる。</p> <p>○他職種は生活相談員に現業員としての業務を期待している。</p> <p>〈今後の課題〉</p> <p>○アンケートの結果、認識の違いが明確になった。そのギャップを理解することにより、利用者を中心とした他職種間のスムーズな協働を図る。</p> <p>○相談員の業務は多岐に渡るため、広い視野をもてるようにする。</p> <p>〈参考資料など〉</p>
--	--

【メモ欄】
-------